



# 津山工業高等専門学校校報

第159号

令和4年5月24日発行

(令和3年12月1日～令和4年3月31日)

## 目次

### 校内諸規則

◎津山工業高等専門学校学則の一部改正-----	2
◎津山工業高等専門学校将来構想検討特別委員会規程を廃止する規程の制定-----	2
◎津山工業高等専門学校総合情報センター規程の一部改正-----	2
◎津山工業高等専門学校学校運営評価委員会規程の制定-----	2
◎津山工業高等専門学校自己点検及び評価に関する規程の一部改正-----	2
◎津山工業高等専門学校科目等履修生規程の一部改正-----	3
◎津山工業高等専門学校研究生規程の一部改正-----	3
◎津山工業高等専門学校聴講生規程の一部改正-----	3
◎津山工業高等専門学校教員会議規程の一部改正-----	3
◎津山工業高等専門学校技術部組織規程の一部改正-----	3
◎津山工業高等専門学校生命倫理委員会規程の制定-----	3
◎津山工業高等専門学校生命倫理審査規程を廃止する規程の制定-----	3
◎津山工業高等専門学校国際寮の運用に関する内規の制定-----	4
◎津山工業高等専門学校教員選考内規の一部改正-----	4

### 人事異動

-----	4
-------	---

### 主要日誌

-----	5
-------	---

### 諸報

○入寮説明会-----	6
○第57回中国地区高等専門学校体育大会代替大会-----	6
○津山高専技術交流プラザ企業PR会-----	6
○次世代自動車展示会-----	7
○たたら製鉄公開実験-----	7
○合同研究発表会2021（オンライン）-----	7
○第56回全国高等専門学校体育大会-----	7
○専攻科の先端技術特別講義-----	8
○寄附金感謝状贈呈式-----	8
○国際シンポジウム（オンライン）にて研究発表-----	8
○グローバルリーダー育成塾2021（オンライン）-----	8
○寮生集会-----	8
○中国地区高等専門学校学生国際交流支援コンソーシアム連絡会（第12回目）-----	9
○推薦入学者選抜試験-----	9
○第15回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト-----	9
○退寮説明会-----	9
○オンラインにて第2回“EReTTSa”シンポジウム～SDGs時代の地域活性～-----	9
○海外研修説明会（オンライン）-----	10
○学力入学者選抜試験-----	10
○津山高専技術交流プラザ・津山商工会議所合同産学連携交流会-----	10
○入学説明会，入学手続き-----	10
○卒業式・専攻科修了式-----	11

○退職時永年勤続者表彰式及び感謝状贈呈式-----	11
○寄付金-----	11

## 校内諸規則

### ◎ 津山工業高等専門学校学則の一部改正

- 1 改正番号 学則第1号
- 2 学則の名称 津山工業高等専門学校学則
- 3 改正年月日 令和4年1月19日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 学習指導要領の改訂に伴い、高校の社会の科目が変更になったことから、それに準じる対応をするためカリキュラムの変更を行うため改正する。

### ◎ 津山工業高等専門学校将来構想検討特別委員会規程を廃止する規程の制定

- 1 制定番号 規程第42号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校将来構想検討特別委員会規程を廃止する規程
- 3 制定年月日 令和3年12月22日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 制定理由 設置目的である本校の教育課程の編成等の完了に伴い、当該規程を廃止するため制定する。

### ◎ 津山工業高等専門学校総合情報センター規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第1号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校総合情報センター規程
- 3 改正年月日 令和4年1月19日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 総合情報センターの現状に即した内容にするため、規程を一部改正する。

### ◎ 津山工業高等専門学校学校運営評価委員会規程の制定

- 1 制定番号 規程第2号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校学校運営評価委員会規程
- 3 制定年月日 令和4年1月19日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 制定理由 学校運営全般におけるPDCAサイクルの活動に対し、教育点検システムの外部より点検・改善の提言を行う組織を整備するため規程を制定する。

### ◎ 津山工業高等専門学校自己点検及び評価に関する規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第3号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校自己点検及び評価に関する規程
- 3 改正年月日 令和4年1月19日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 自己点検及び評価の実施体制に学校運営評価委員会を追加するため、規程を一部改正する。

◎ 津山工業高等専門学校科目等履修生規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第4号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校科目等履修生規程
- 3 改正年月日 令和4年2月9日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 字句の修正・追加等を行い整理するため改正する。

◎ 津山工業高等専門学校研究生規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第5号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校研究生規程
- 3 改正年月日 令和4年2月9日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 字句の修正・追加等を行い整理するため改正する。

◎ 津山工業高等専門学校聴講生規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第6号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校聴講生規程
- 3 改正年月日 令和4年2月9日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 字句の修正・追加等を行い整理するため改正する。

◎ 津山工業高等専門学校教員会議規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第7号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校教員会議規程
- 3 改正年月日 令和4年3月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 教員会議の議長を副校長とし、教員会議において自由な発言を喚起するため改正する。

◎ 津山工業高等専門学校技術部組織規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第8号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校技術部組織規程
- 3 改正年月日 令和4年3月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 学科改組による授業等支援内容の変化に対し、班体制を現状に合わせるため改正する。

◎ 津山工業高等専門学校生命倫理委員会規程の制定

- 1 制定番号 規程第9号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校生命倫理委員会規程
- 3 制定年月日 令和4年3月24日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 制定理由 生命倫理について専門的知識を有したもので組織を構成するため制定する。

◎ 津山工業高等専門学校生命倫理審査規程を廃止する規程の制定

- 1 制定番号 規程第10号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校生命倫理審査規程を廃止する規程

- 3 制定年月日 令和4年3月24日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 制定理由 新たに津山工業高等専門学校生命倫理委員会を設置するため制定する。

◎ 津山工業高等専門学校国際寮の運用に関する内規の制定

- 1 制定番号 内規第12号
- 2 内規の名称 津山工業高等専門学校国際寮の運用に関する内規
- 3 制定年月日 令和3年12月1日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 制定理由 国際寮を使用していくために必要な諸規則を整備するため制定する。

◎ 津山工業高等専門学校教員選考内規の一部改正

- 1 改正番号 内規第13号
- 2 内規の名称 津山工業高等専門学校教員選考内規
- 3 改正年月日 令和3年12月1日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 津山工業高等専門学校教員人事の選考基準の申合せの制定に伴い、内規の一部改正を行う。

人事異動

校内のみ

# 校内のみ

## 主要日誌

- |          |  |
|----------|--|
| 12月2日    | 入寮説明会  |
| 3日       | 地域共同テクノセンター運営委員会   |
| 4日       | 2～5年生第2回単位認定試験   |
| 6日       | 教育システム点検委員会（メール会議）、専攻科（拡大）運営委員会、<br>専攻科入学者選抜試験（後期学力、社会人特別選抜） |
| 7日       | 教務委員会、国際交流センター運営委員会、学生生活委員会、<br>入寮説明会（現通学生向）                 |
| 9日       | 寮務委員会  |
| 10日      | 専攻科入学者選抜試験（後期学力、社会人特別選抜）合格発表、<br>情報セキュリティ推進委員会               |
| 12日      | 2～5年生第2回単位認定試験   |
| 13日      | 企画会議、専攻科運営委員会  |
| 14日      | 運営会議、寮一斉清掃   |
| 20日～24日  | 安全衛生委員会（メール会議）   |
| 18日～19日  | 第56回全国高等専門学校体育大会（剣道競技、水泳競技）                                  |
| 21日      | 4年生TOEIC-IP試験、総合支援センター運営委員会                                  |
| 25日      | 閉寮、閉寮点検  |
| 25日～1月7日 | 冬季休業   |
| 1月4日～9日  | 第56回全国高等専門学校体育大会・第52回全国高専ラグビー<br>フットボール大会                    |
| 7日       | 情報セキュリティ推進委員会  |
| 10日      | 開寮   |
| 11日      | 教務委員会、学生生活委員会、寮生集会   |
| 17日      | 企画会議   |
| 18日      | 運営会議、推薦入学者選抜試験   |
| 19日      | 専攻科運営委員会   |
| 20日      | 入学試験委員会  |
| 21日      | 総合支援センター運営委員会  |
| 24日      | 推薦入学合格内定者発表  |
| 24日～28日  | 安全衛生委員会（メール会議）   |
| 25日      | 3年生TOEIC-IP試験  |
| 26日      | 本科・専攻科補講日  |
| 27日～2月2日 | 本科・専攻科後期末試験  |
| 31日      | 企画会議、広報委員会   |
| 2月1日     | 教員会議   |
| 2日       | 退寮説明会  |
| 13日      | 学力入学者選抜試験  |
| 14日      | 企画会議、専攻科情報交換会  |

14日～18日	安全衛生委員会（メール会議）
15日	教務委員会， 学生生活委員会
15日～21日	特別補習期間
17日	入学試験委員会， 寮務委員会
21日	専攻科運営委員会， 総合支援センター運営委員会
22日	運営会議
22日～3月18日	特別教育期間
3月1日	入学者選抜試験合格者発表， 教務委員会
3日	教員会議， 卒業判定会議， 進級判定会議（1年生）， 専攻科運営委員会（修了判定， 技術者教育プログラム修了確認を含む）
6日	入学説明会， 入学手続（1回目）
8日	広報委員会
10日	入学試験委員会， 国際交流センター運営委員会（メール会議）
11日	教員会議， 進級判定会議（2～4年生）
14日	企画会議
14日～18日	安全衛生委員会（メール会議）
15日	教務委員会， 学生生活委員会
16日	教育システム点検委員会（メール会議）， 研究推進委員会， 寮一斉清掃， 寮務委員会
17日	卒業式・専攻科修了式
18日	入学説明会， 入学手続（2回目）
19日	閉寮・閉寮点検
22日～31日	学年末休業
23日	運営会議
24日	退職時永年勤続者表彰式及び感謝状贈呈式， 退任式・離任式

## 諸 報

### ○入寮説明会

12月2日（木）及び7日（火）に、来年度の入寮を希望する寮生のため入寮説明会が行われた。  
本説明会では寮務主事から寮生へ、来年度の入寮選考にかかる手続きや選考基準の説明、今後の寮生活における注意などが行われた。

### ○第57回中国地区高等専門学校体育大会代替大会

第57回中国地区高等専門学校体育大会が7月2日～4日に予定されていたが、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、各競技による代替大会が開催され、本校の学生が参加し健闘・活躍した。

12月から3月までに開催された代替大会は次のとおり。

- ・ソフトテニス競技（12月5日（日），会場：呉高専テニスコート）

### ○津山高専技術交流プラザ企業PR会

12月7日（火）に、津山高専の学生に地域企業の事業内容・製品・技術などを知ってもらうこと、また学生に将来を考えるきっかけを与えることを目的に、岡山県北をはじめ県下の製造業企業などで構成された津山高専技術交流プラザによる「津山高専技術交流プラザ企業PR会」が開催された。

企業PR会は今回で12回目となり、津山高専技術交流プラザ会員企業118社のうち40社が出展し、新

型コロナウイルス感染防止に努めながら開催した。

各社は、開設した各ブースで事業内容の説明のほか、それぞれが用意した製品や材料などの展示品や動画を用いて、各社が売りにしている物や技術などを紹介していた。

会場となった第二体育館では、多くの学生が、興味のある企業のブースへ行き、担当者からの説明を熱心に聞いていた。

出展いただいた企業の方々および関係者の皆様に、深くお礼申し上げます。

### ○次世代自動車展示会

12月7日（火）に、地球環境に優しい次世代自動車の展示会が、本校総合理工学科南館南広場で開催された。

この展示会は、津山市が主体となって、最近注目されている地球環境に優しい電気自動車などの次世代自動車の普及・啓発を目的としており、会場には国内自動車メーカーや津山市のバイクショップが開発したプラグインハイブリッド車などが展示された。

試乗した学生からは「見た目より広かった。電気を使用するのは地球環境を守るのに良いことだ。」などの意見があった。

### ○たたら製鉄公開実験

12月11日（土）9：00から16：00まで、たたら製鉄公開実験が、津山高専総合理工学科南館南広場にて開催された。

これは砂（砂鉄）から鉄の塊をつくる実験で、講師には東京工業大学名誉教授の 永田 和宏 先生をお招きし、多くの学生有志によるサポートで行った。

実験開始にあたり、まずは、安全上の確認と鉄ができる過程の説明が講師より行われた。

次に、鉄をつくるための“炉”の製作を始めた。

耐火レンガで組んだ炉の中に、木炭を細かく砕いたものを敷き詰め、羽口（空気を吹き込む穴）をセットしたら木炭に火をつけ、いよいよ実験が本格的に開始となる。

送風機で羽口から空気を吹き込むことにより火力を上げ、さらに炉内温度を上げるために高さが1.5m位になるまでブロックを積み上げる。

炉を十分に余熱したところで、砂鉄と木炭を交互に入れていく。

砂鉄を投入してから、適当なタイミングでノロだしを行う。

“ノロ”とは近代製鉄で言うところのスラグのことで、砂鉄に含まれていた不純物をここに集めて取り出すことにより、純度の高い（不純物の少ない）鉄の塊を炉の中に残すことができる。

ノロだしを行った後は、ケラ（鉄の塊）を取り出す準備を始める。

送風機の出力を下げ徐々に炉の温度を下げていき、炉を壊して中にあるケラを取り出す。

今回の実験は天候にも恵まれ、多くの方が見学に訪れた。

取り出したケラはハンマーで叩いて、ノロや木炭の燃え残りを取り除く。

今回は20キロの砂鉄から7キロのケラが得られ、大成功のうちに実験を終了することができた。

### ○合同研究発表会2021（オンライン）

12月17日（金）に、本校の海外協定校である中国の大連東軟信息学院と中四国地区高専の学生が研究発表を行う「合同研究発表会2021 オンライン」を開催した。

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となったが、大連東軟信息学院から15名、中四国地区高専からは14名の各高専学生が参加した。

専門的な発表だけでなく語学や国際交流についての発表も行われ、参加した学生や教員は、さまざまな分野の発表に興味深く耳を傾け、質疑応答も活発に行われた。

### ○第56回全国高等専門学校体育大会

第56回全国高等専門学校体育大会が次のとおり開催され、各競技に本校の学生が参加し健闘・活躍した。

12月から3月までに開催された全国大会および結果（第3位以上）は次のとおり。

- ・剣道競技  
(12月18日(土)～19日(日), 会場: 仙台高専名取キャンパス第一体育館)
  
- ・水泳競技  
(12月18日(土)～19日(日), 会場: 秋田県立総合プール)
  
- ・ラグビーフットボール競技  
(1月4日(火)～9日(日), 会場: 神戸ユニバー記念競技場)  
第3位

### ○専攻科の先端技術特別講義

12月20日(月)に、専攻科の本年度第6回先端技術特別講義が実施された。

講師は、兵庫県立大学大学院情報科学研究科の 安田 修悟 先生で、次のテーマで講演された。

「ソフトマターや生物の流れのシミュレーション」

専攻科生および教員が参加し、マクロとミクロの世界をつなぐメソスケールでの数値シミュレーションに関する最先端の内容をご講演いただいた。

あわせて、兵庫県立大学大学院情報科学研究科の説明をいただき、学生からの質問に答える形で、進路選択にあたっての対応や心掛けておくべきことについてお教えいただいた。

高度な研究内容を、短時間でわかりやすく説明していただいた安田先生に、お礼申し上げます。

### ○寄附金感謝状贈呈式

12月23日(木)に、本校会議室において寄附金感謝状贈呈式を執り行った。

贈呈式では、本校の修学支援のために多額のご寄附をいただいた、15期電気工学科卒業生の石飛徳昌様へ感謝状をお贈りした。

感謝状が贈呈された後、校長からご寄附いただいたことへのお礼を申し上げ、ご主旨に沿って有効に活用いたしますとの挨拶があった。

その後、石飛様からも、5年間過ごした高専へ感謝の気持ちを込めて、在校生の皆様にご活用いただきたいとお言葉をいただいた。

### ○国際シンポジウム(オンライン)にて研究発表

12月24日(金)に、タイ王国プリンセスチュラポンサイエンスハイスクール(PCSHS)科学技術研修に参加した学生7名が、国際シンポジウムにて研究発表を行った。

国際シンポジウム(International Research Symposium Japan-Thai)は、今年で4回目を迎え、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行により、PCSHSと本校を結んでのオンライン開催となった。

### ○グローバルリーダー育成塾2021(オンライン)

1月11日(火)に、中国地区高専学生国際交流支援コンソーシアム事業の一環として、グローバルリーダー育成塾2021(最終回)を開催した。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染予防に配慮して、オンラインを通じて計4回開催し、「Let's Make Video for Introduction of Regions in the World!」と題して、中国地区高専(本校、広島商船、宇部高専)の日本人学生と留学生がグループに分かれて、プロモーションを目的とした国内外の地域紹介動画を作成した。

### ○寮生集会

1月11日(火)に、開寮にともなう寮生集会が行われた。

新型コロナウイルス感染症対策のため、寮生は居室で待機し、放送にて行われた。寮務主事から全寮生に向けて、年度末へ向けて寮生活を送る上での注意事項、新型コロナウイルス感染防止策などが伝え



られた。

### ○中国地区高等専門学校学生国際交流支援コンソーシアム連絡会（第12回目）

1月17日（月）に、オンラインにて、中国地区高等専門学校学生国際交流支援コンソーシアム連絡会（第12回目）を開催した。中国地区の8高専から国際交流担当の教職員が集まり、令和3年度事業報告と令和4年度活動計画について報告が行われた。

### ○推薦入学者選抜試験

1月18日（火）に、令和4年度本科推薦入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、1月24日（月）に次のとおり合格内定者を発表した。

志願者数	163名（総合理工学科）
合格内定者	80名（総合理工学科）

### ○第15回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

1月22日（土）に開催された第15回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストに本校の学生が参加し、次のとおり優秀な成績をおさめた。

チーム部門 第2位 森本樹璃（4-S），平松鴻志（2-M），鳥取晴南（2-C）

### ○退寮説明会

2月2日（水）に、卒業予定の5年生及び修了予定の専攻科2年生に向けて、退寮説明会が行われた。

本説明会では、卒業・修了にかかる退寮にともない、寮務主事より手続きの方法や退寮までの生活における注意などが行われ、寮生会から卒業記念として茶菓子と飲み物が配布された。

### ○オンラインにて第2回“EReTTSa”シンポジウム～SDGs時代の地域活性～

2月4日（金）にオンラインにて、本校と国立大学法人岡山大学、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターの合同で、相互に締結している連携協力協定の趣旨により、「“EReTTSa”シンポジウム～SDGs時代の地域活性～」を開催した。

本シンポジウムは、三機関が有する産学官連携機能を有効的に活用した取組に着目し、津山工業高等専門学校と日本原子力研究開発機構が位置する作州地域に目を向け、三機関が協力して作州地域のさまざまな課題や要望に取り組むことで、作州地域を盛り上げることを目指し、作州地域の自治体や商工団体と三機関が連携するきっかけとなるよう開催している。

第2回目の開催となる今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で完全オンラインでの実施となったものの、各機関の教職員や地元企業から約70名の参加があり、盛況に開催することができた。

今年は、各機関の活動をSDGsに則って紹介いただき、作州地域の地域活性に何が必要かという切り口で、活発な議論が交わされた。

また、今年度は岡山大学学生・本校学生会の発表の場も設けられ、学生の立場でSDGsとの関わりの説明を行った。

オンライン開催が不慣れで至らぬ点多々あったが、皆様のご協力の下で大禍なく終了することができた。

講演者の皆様および関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

#### ※“EReTTSa”について

教育(Education)、研究(Research)、技術(Technology)でつながる三機関によるトライアングル(Triangle)が、作州地域(Sakushu area)が抱える社会課題などに取り組んでいくところみを“EReTTSa”(エレッサ)と名付けた。

## ○海外研修説明会（オンライン）

2月8日（火）に、次年度向けの海外研修説明会を開催した。グローバル化に対応できる国際的技術者育成のため、プログラムごとに担当教員がプログラムの内容や魅力について説明があり、学生や保護者・教職員の総勢57名が参加した。

## ○学力入学者選抜試験

2月13日（日）に、本校及び岡山会場において、令和4年度本科学力入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、3月1日（火）に次のとおり合格者を発表した。

志願者数	198名（総合理工学科）
合格者数	135名（総合理工学科）

## ○津山高専技術交流プラザ・津山商工会議所合同産学連携交流会

2月24日（木）に、「津山高専技術交流プラザ・津山商工会議所合同産学連携交流会」がオンラインにて開催され、津山高専教職員および津山高専技術交流プラザ会員企業、津山商工会議所会員企業、津山市職員と、多くの方々が参加した。

今回は、以下の方々を講師に迎え、「取引先企業とともに取り組む環境負荷低減」をテーマに、ご講演いただいた。

株式会社日立ハイテクCSR本部	本部長	飯泉 紀子 様
サステナビリティ推進部	部長	高木 尚子 様
	部長代理	片倉 彰浩 様
	部長代理	柴宮 信 様

講師の皆様は“取引先とともに取り組む環境負荷低減”と題し、喫緊の社会課題であるカーボンニュートラルに向かう変化の中の企業として、事業者が自社の製造・生産で排出するCO2削減に取り組むScope1, 2に加えて、BtoBの事業活動におけるサプライチェーンを通じた排出削減のScope3について、温室効果ガス排出量算定の国際的スタンダードのGHGプロトコルに基づく算出に加え、自社製品の輩出量原単位の設定など、ゼロから取り組まれた経緯をご紹介いただいた。

また、協力関係にあるサプライチェーンの一部を担う顧客企業への提案や、その苦労をお話していただいた。

非財務価値の一つとしての脱炭素化の取り組みが、ステークホルダーから選ばれる指標になることを、平易な言葉でご説明していただいた。

カーボンニュートラルは喫緊の課題であり、世界的な枠組みが動きつつある中であるが、一方で講師の皆様は企業のカーボンニュートラルの取り組みについて、各企業がそれぞれの実態に合わせ、持ちつ持たれつの関係で乗り切りたいとのコメントをくださった。

SDGs時代の企業の在り方を教えていただいたように思った。

産学官が互いに信頼し、支えあい、さまざまな課題に日々取り組んでおられる津山高専技術交流プラザ会員の皆様にとりましても、良いご講演だったのではないかと感じた。

また、本校の松田キャリア教育委員長より、津山高専における学生の進路状況や傾向についての報告があり、充実した交流会となった。

津山高専技術交流プラザは、津山高専と津山産業界等との交流を深めることにより、地域産業の発展に寄与するとともに、津山高専の教育研究の振興を図ることを目的としており、さらなる産学交流のため、津山商工会議所との合同産学連携交流会を開催している。

## ○入学説明会及び入学手続き

3月6日（日）3月18日（金）の2回にわたり、本科入学者選抜試験合格者を対象に令和4年度入学説明会及び入学手続きを実施した。

本校での学習、学生生活、寮生活等の説明及び必要書類等の提出・物品購入等の入学手続きを行った。

た。

また、3月18日(金)には、専攻科及び編入学予定者の入学手続も同時に実施した。  
入学者の確定数は次のとおりである。(国費及び外国政府派遣留学生を除く)

本科1年生：総合理工学科 161名  
本科4年生：総合理工学科  
          先進科学系          2名  
          電気電子システム系 3名  
          情報システム系      1名  
専攻科    ：機械・制御システム工学専攻 9名  
          電子・情報システム工学専攻 11名

### ○卒業式・専攻科修了式

3月17日(木)10時30分からベルフォーレ津山において、令和3年度津山工業高等専門学校卒業式・専攻科修了式を挙行了。卒業生数及び専攻科修了者数は次のとおり。

卒業生 総合理工学科  
          先進科学系          38名  
          機械システム系      39名  
          電気電子システム系 47名  
          情報システム系      37名  
                                  計161名  
  
修了生 機械・制御システム工学専攻 7名  
          電子・情報システム工学専攻 8名  
                                  計15名

### ○退職時永年勤続者表彰式及び感謝状贈呈式

3月24日(木)、令和3年度退職者に係る永年勤続者表彰式及び感謝状贈呈式を執り行った。  
表彰状及び感謝状並びに記念品が授与された後、校長から祝辞があり、被表彰者を代表して前原健二准教授より謝辞があった。

#### 【永年勤続者表彰式】

総合理工学科	准教授	前原 健二
事務部	事務部長	田邊鉄太郎
技術部	技術専門員	日下 孝二

#### 【感謝状贈呈式】

総合理工学科	教授	エリック ランボー
総合理工学科	准教授	趙 菲菲
技術部	技術専門職員	塩田 裕司

### ○寄付金

寄 付 者 公益財団法人大倉和親記念財団  
寄付の目的 溶融金属チタン保持のための非反応性の汎用セラミックスルツボの開発  
寄付年月日 令和3年12月20日  
寄 付 金 額 1,000,000円

寄付者	亀川 喜己雄（個人）
寄付の目的	教育支援（一般教養関連図書充実）
寄付年月日	令和3年12月17日
寄付金額	5,000,000円
寄付者	津山圏域工業会
寄付の目的	津山工業高等専門学校における研究の奨励
寄付年月日	令和4年2月14日
寄付金額	100,000円
寄付者	津山高専技術交流プラザ
寄付の目的	高専プラザ会員企業と津山工業高等専門学校との連携促進
寄付年月日	令和4年3月25日
寄付金額	300,000円
寄付者	津山高専技術交流プラザ
寄付の目的	高専プラザ企業と津山工業高等専門学校との連携促進
寄付年月日	令和4年3月25日
寄付金額	227,500円
寄付者	津山高専技術交流プラザ
寄付の目的	高専プラザ会員企業の地域共同テクノセンター利用促進のため
寄付年月日	令和4年3月25日
寄付金額	527,000円

発行	津山工業高等専門学校
発行年月日	令和4年5月24日